

大阪市助成公演

上方西洋古楽演奏会シリーズ 2015夏

～重要文化財で楽しむ～

# フランス諸人のバロック

## ＜出演＞

森本 英希 (バロックフルート、リコーダー)  
 赤坂 放笛 (バロックオーボエ、リコーダー)  
 前田 肇 (バロックファゴット)  
 一楽 恒 (バロックチェロ)  
 池内 修二 (ヴィオローネ)  
 吉竹 百合子 (チェンバロ)

## ＜プログラム＞

ケープラン:新しいコンセール 第8番「劇場風」  
 J.Ph.ラモー:「優雅なインドの国々」より  
 リュリ:「町人貴族」より  
 ほか ※プログラムは変更する場合がございます

♪本公演に先がけ、公開リハーサルと講座開催!  
 (要予約、入場無料)

- ◆公開リハーサル  
 8/3(月)13:00 大阪歴史博物館 講堂  
(大阪市中央区大手前4丁目1-30)  
 ※地下鉄谷町線・中央線「谷町四丁目」2号、9号出口
- ◆フランスのフルートの伝統(講師:森本英希)  
 8/17(月)13:00 ガーデンカフェ  
(大阪市生野区橋本2-21-20)  
 ※京環状線「橋本」東へ徒歩8分

◆ご予約・お問合せ: そう楽舎 (赤坂)  
 電話: 090-8147-4861  
 E-mail: souraku\_umami2000@yahoo.co.jp

＜主催＞そう楽舎 ＜協賛＞京都バロック楽器アンサンブル  
 ＜後援＞大阪府、大阪市(公益財団法人)関西・大阪21世紀協会  
 大阪音楽大学同窓会《幸楽会》、コウベレックス  
 東京リコーダー協会、リコーダーJ-P

2015年

**8/27(木)**  
**19:00開演**  
 (18:30開場)

大阪市中央公会堂 小集会室

地下鉄御堂筋線/京阪電鉄「淀屋橋」駅下車1番出口から徒歩約5分

◆入場料: 一般3000円 高校生以下1,000円  
 (当日500円増)



# ◆8/27(木)本公演

会場：大阪市中央公会堂 3F 小集会室

大阪市北区中之島1丁目1番27号

地下鉄御堂筋線/京阪電鉄「淀屋橋」駅下車 1番出口から徒歩約5分



## ◆本公演に先がけ、公開リハーサルと講座開催

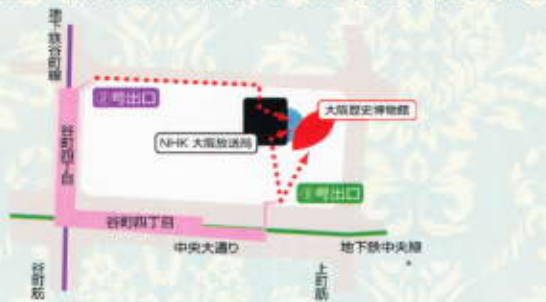
**入場無料**

定員がありますので、ご予約・お問い合わせください  
(ご予約で満席になる場合がございます)

### ◆公開リハーサル

8/3(月)13:00 大阪歴史博物館 講堂

(大阪市中央区大手前4丁目1-32) ※地下鉄谷町線・中央線「谷町四丁目」2号・9号出口



### ◆フランスのフルートの伝統 (講師：森本英希)

8/17(月)13:00 ガーデンカフェ

(大阪市生野区狭谷2-21-26) ※京阪伏見線「狭谷」東へ徒歩8分



## 【演奏者プロフィール】

### ■森本英希(もりもと ひでき) パロックフルート



和歌山県本宮市出身。京都市立芸術大学音楽学部、同大学院修士課程修了。修了時に大学院院長賞受賞。ナショナルオーケストラのフルート奏者、ムラマツフルート・リッスンセンター講師。京都パロック音楽アンサンブル代表。フルート重奏団「アンソングル・ベネチア」のメンバー。丹波の森本英希音楽祭2006(シューベルト・アード・丹波)、第10回福徳国際音楽祭2012にゲストとして出演。古楽器奏者としても、ユザワムルム・グランド・ピアノのCD録音(日本コロムビア、ナリコード)、ライブフルート・パルティス・フェスティバル2010などを含む多数の演奏会に参加しているほか、京都パロック音楽アンサンブルの代表として多くの演奏会をプロデュースしている。  
現在、京都市立芸術大学大学院博士後期課程在学中。

### ■赤坂放笛(あかさか ほーてき) パロックオーボエ



和歌山大学音楽学部音楽学科(古楽器専攻)でパロックオーボエを学び、各地で古楽アンサンブルや古楽オーケストラにて演奏活動を行う。1988-2002年の14年間重要無形文化財総合指定者の取守の下で、友人らとて和歌山を移住。その間に学校公演や海外公演に数多く出演。2003年春「和音会」を立ち上げ、草月Nature Network-Space Kusubira(大阪府岸)にて専攻に準じて「西洋古楽器による小演奏会シリーズ」を10回開催。2012年の会場開演に際し、和音会にてシリーズを継承中。現在、和音会にて任意の音楽家集団を主宰し、通常の演奏会の企画に加え、和音会と西洋古楽の融合の観点に主たる演奏会を開催している。東京リコーダー協会、高級中学・高等学校教員。

### ■前田肇(まえだ はじめ) パロックファゴット



モダンバスーン、パロックバスーン、クラシックバスーン奏者、編曲家。19歳よりモダンバスーンを始める。京都市立芸術大学音楽学部卒業。モダンバスーンを協奏和声、光永良史、菅原良明の各氏に師事。1981年から2002年までバスーン奏者として京都フィルハーモニー室内楽団に在籍。楽団在籍中に古楽に興味を持ち、パロックバスーン、クラシックバスーンの演奏活動始める。日本で数少ない古楽バスーン奏者として活躍中。また、楽団在籍中より作曲活動始める。クラシック、ジャズ、ポピュラー、民族、祭歌など様々なジャンルの作曲にこなす。これまで手がけた編曲は、500以上を数える。また2011年、広島県神石高原町立三小小学校校長を拝命。

### ■一楽 恒(いちらく ひさし) パロックチェロ



京都出身。13歳からチェロを習い始める。京都市立芸術大学音楽学部卒業。19歳で2002福徳国際音楽祭や京都ブライト・ソラ・ソラ音楽祭に出演。第19回「万葉の長城林」国際音楽コンクール、アンサンブル部門「大学の部」第2位(1位なし)。これまでに、森田健二、上村洋の各氏に師事。

### ■池内修二(いけうち しゅうじ) ヴィオローネ



大阪芸術大学音楽学科卒業。宮澤誠夫、フランクフルト音楽大学ゼネラル・ウラウス各氏に師事する。全米国際音楽祭、富士山麓国際音楽祭、やまなみ国際音楽祭等に参加。主に室内オーケストラ、アンサンブル奏者として活動する。現在、大阪フィルハーモニー交響楽団コンサートマスター、大阪芸術大学音楽学科非常勤講師。近年は古楽器の演奏、研究も積極的に行っている。

### ■吉竹百合子(よしたけ ゆりこ) チェンバロ



大阪音楽大学卒業後、同大学教育助手(西洋古楽演習担当)として演奏やチェンバロの製作に関わる。ヴェネツィアにてイタリアンチェンバロ協会マスターコース修了。インストブルック国際音楽祭に参加。国内外のマスターコースにて研鑽を積む。ワグネル・イェル・ワグネル、大阪音楽大学・京都産業大学等においての公開講座。存続の福徳国際音楽祭、金沢芸術文化財団各地に招聘され出演。各種楽団でチェンバロ協奏曲演奏ほか、オペラやリサイタルなど初期鍵盤楽器を使用した多くの演奏会に出演。パロックダンスや和楽器といった多岐にわたるジャンルでの公演において、ソロ及び協奏曲奏者として活動。幅広い経験にもとづいて、

◆ご予約・お問合せ：そう楽舎(赤坂) 電話：090-8147-4861 E-mail：souraku\_umami2000@yahoo.co.jp

クラシック音楽界で音楽史の資料的見地から復活を遂げた西洋古楽。近年その演奏レベルが飛躍的に向上し、モダン楽器との垣根がなくなりました。しかし関西において西洋古楽は、十分に普及していません。そんな関西で、子供から大人まで、気軽に西洋古楽を聴いて頂くために設立しました。

まず「西洋古楽器による小演奏会シリーズ」を、2003年7月に大阪市南森町のギャラリーでスタートさせました。当初は年4回程度の開催でしたが、2006年夏ごろより毎月開催するようになり、2009年10月には一週間で毎夜10公演の「上方西洋古楽演奏会週間」開催(10公演までで第50回とカウント)、会場「草月」が開演となし2012年6月までの約9年間で合計103回の演奏会を上演しました。閉演後は新天地を求め、2012年10月に大和文庫文庫ホールにて第104回を開催。以降、日本基督教団天満教会など様々な会場で継続し、2015年6月末で第121回を数えます。

また、各方面からご依頼を頂き、様々な公演に出演しています。2004年7月には熊本県菊池忠徳園にて「狂言と音楽の集い」に出演、11月岡山県長高愛生園にて演奏のほか、兵庫県立美術館や大阪府大東市立生涯学習センター、三木市小河野別荘(国登録有形文化財)、2011年秋には、大阪歴史博物館主催の閉館10周年記念特別展《心音 響きわたるモダン〜埋め込みの大阪時代〜》「モダン大阪音楽会」など、各地での招聘を受けて演奏会を企画し出演しています。

2009年4月から2012年3月までの3年間には、大阪市「ゆとりどりの振興局」文化部の公共事業、現代芸術創造支援事業において事業委託を請け負う団体として振興され、本公演と連動したワークショップを含め計11公演開催、日本基督教団浪花教会や大阪市中央公会堂、国立文楽劇場、大阪歴史博物館などで開催しました。日本民謡・三味線との試み「はらがくdeパロック」と、能楽との試み「和洋の再会」は空前の新しい試みであり、あそび心のある聴衆から高い評価を得ました。

2013年5月には、国の登録有形文化財である川口基督教教会にて、ヴィヴァルディ室内協奏曲のRV97を除く全22曲を3日間で開催するという「Viva Vivaldi〜ヴィヴァルディ祭り」を大阪府助成公演として開催しました。また、本公演と連動した公開リハーサルと講座会を、大阪歴史博物館との共催として3公演開催。時空を超えて、ともに水都である大阪とヴェネツィアを結ぶ公演となりました。

2014年6月には、大阪府助成公演として「和洋の再会〜大阪最古の聖堂で相見える和洋の音楽」を川口基督教教会にて開催。それ先がけ、公開リハーサルとワークショップ3公演開催。2015年2月には、奈良県新たな文化活動チャレンジ補助金公演として、「和洋の再会in奈良〜能楽と西洋古楽」を聖徳太子ゆかりの織女(明日香村)にて開催。公開リハーサルとワークショップ2公演を法隆寺センターにて開催。聴く側にも柔軟な感性を要する未知のサウンドに大きな反響がありました。

そう楽舎

《2003年4月設立》